

岡山県感染症週報 2021年第20週 (5月17日～5月23日)

◆2021年 第20週 (5/17～5/23) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第18週	4類感染症	レジオネラ症	1名 (60代 男)
	5類感染症	梅毒	3名 (20代 女 1名、30代 男 1名、40代 女 1名)
第19週	2類感染症	結核	2名 (20代 男 1名、60代 女 1名)
	5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	2名 (幼児 男 1名、70代 男 1名)
第20週	2類感染症	結核	2名 (40代 女 1名、60代 男 1名)
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1名 (O26:20代 女)
	4類感染症	レジオネラ症	1名 (80代 男)
	5類感染症	梅毒	2名 (20代 女 1名、40代 男 1名)
		百日咳	1名 (70代 男)
	新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	794名

ソーシャルディスタンス
・マスク・手洗い!



© 岡山県「うらっち」

新型コロナウイルス感染症 年齢階級別・性別発生状況一覧表

	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	年代非公表
男	2	21	75	64	73	62	39	35	15	8	
女	1	18	71	39	58	56	32	28	25	8	
性別非公表											64

【第21週 速報】

○新型コロナウイルス感染症 255名の発生がありました。詳細については「今週の注目感染症」をご覧ください。

- 新型コロナウイルス感染症**は、2021年第20週に794名の報告があり(第19週は1,149名)、県内で新型コロナウイルス感染症初発例が確認された2020年第12週から2021年第20週までの累計報告数が6,930名となっています。全国や岡山県の発生状況など、詳しくは「**今週の注目感染症**」をご覧ください。
- RSウイルス感染症**は、県全体で38名(定点あたり0.39→0.70人)の報告があり、前週から増加しました。過去10年間の同時期と比較して、最も多くなっています。地域別では、倉敷市(1.91人)、岡山市(1.00人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、大人は軽い風邪程度の症状で軽快しますが、乳幼児が感染すると重症化するおそれがあります。有効なワクチンはなく、症状に応じた対症療法が行われます。今後の県内の発生状況に注意するとともに、手洗い、うがいを行うなど、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡		RSウイルス感染症	➡	★★★★★
咽頭結膜熱	⬆	★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⬆	★
感染性胃腸炎	⬆	★★★	水痘	⬆	★
手足口病	⬆	★	伝染性紅斑	⬆	★
突発性発疹	⬆	★	ヘルパンギーナ	⬆	★
流行性耳下腺炎	⬆	★	急性出血性結膜炎	➡	
流行性角結膜炎	➡		細菌性髄膜炎	➡	
無菌性髄膜炎	➡		マイコプラズマ肺炎	➡	
クラミジア肺炎	➡		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	

【記号の説明】 前週からの推移： ⬆：大幅な増加 ⬆：増加 ⬆：ほぼ増減なし ⬆：減少 ⬆：大幅な減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)
 空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

今週の注目感染症

★新型コロナウイルス感染症

●新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、現在世界中で感染が拡大している呼吸器症状などを呈する感染症です。日本では、2020年1月15日に1例目の感染者が確認されました。感染経路は、飛沫感染が主体と考えられますが、換気の悪い環境であれば、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させると考えられています（WHOは、5分間の会話で1回の咳と同程度の飛沫（約3,000個）が飛ぶと報告）。現在、予防接種が進められています。（[新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報提供（岡山県）](#)）

●症状

1～14日（通常5日程度）の潜伏期間の後に、主に発熱、咳、倦怠感等の風邪のような症状が出現しますが、下痢、嗅覚・味覚障害などを呈する場合があります。初期症状に続き、肺炎症状の増悪を示す場合があります。特に高齢者や基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、肥満など）のある方がり患すると、重症化する割合が高い傾向にあるとされており、注意が必要です。他方、感染しても息苦しさなどを認めない比較的軽症の例や無症状の方も多くみられます。

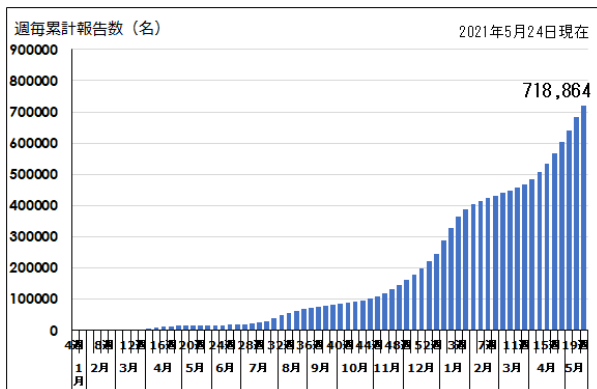
●発生状況

・全国

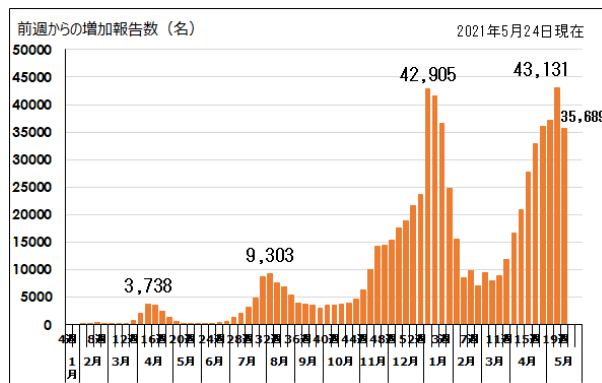
2021年5月27日0時現在まで、国内感染者は累計で729,853名、国内死亡者は12,601名、退院または療養解除となった者は655,222名となっています（厚生労働省ホームページより）。

全国的には、新規感染者数が横ばいまたは減少傾向となる地域がある一方で、依然として増加傾向の地域もあり、予断を許さない状況が続いています。また、重症者数・死亡者数は増加傾向が続いています。英国で最初に検出された変異株への置き換わりが進む中で、その後の新規感染者数の減少につながるまで、以前よりも長い期間を要しています。また、インドで最初に検出された変異株については、英国株よりもさらに感染・伝播性が強い可能性も示唆されており、引き続き注視する必要があります。

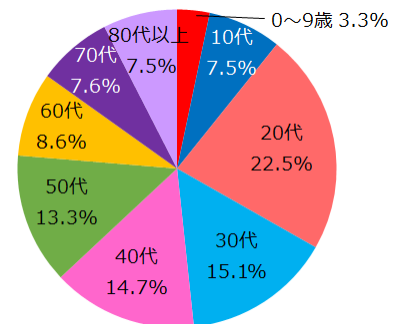
（参考：[都道府県別の変異株（ゲノム解析）確認数について（厚生労働省）](#)）



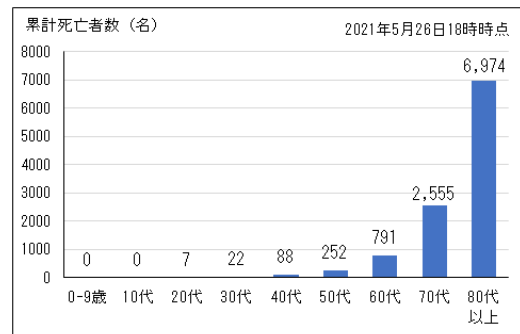
全国 週毎累計 厚生労働省ホームページより
(2021年第20週まで(～2021/5/23))



全国 週毎増加報告数 厚生労働省ホームページより
(2021年第20週まで(～2021/5/23))



全国 年齢階級別累計割合 厚生労働省ホームページより
(2021年5月26日18時時点)



全国 年齢階級別死亡者数

全国 年齢階級別にみた死亡者数の陽性者数に対する割合 (%)

	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	年齢階級計
計	0	0	0.0	0.0	0.1	0.3	1.3	4.8	13.2	1.5
男	0	0	0.0	0.0	0.1	0.4	1.9	6.7	18.3	1.7
女	0	0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.6	2.8	10.2	1.4

2021年5月26日18時時点

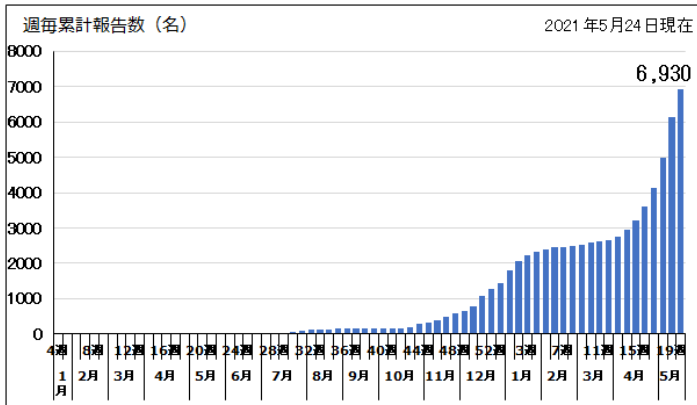
厚生労働省ホームページより(2021年5月26日18時時点)

・岡山県(最新情報)

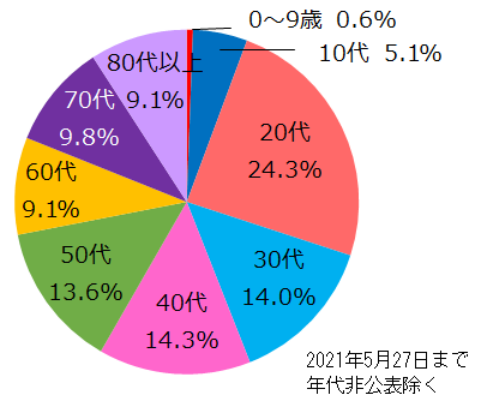
2021年5月27日までに、岡山県の感染者は累計で7,185名（男性3,558名、女性3,140名、性別非公表487名）、死亡者は100名となっています。会食、飲食店、高齢者施設、社会福祉施設、事業所などでクラスターが発生しています。岡山県は緊急事態措置が5月16日から適用されており、新規感染者数は高い水準を継続していますが、5月中旬以降減少傾向に転じています。しかし病床使用率が高い状況は続いており、今後も新規感染者数の減少傾向が継続するか注視が必要です。岡山県の状況、感染予防の方法などの詳細は、[新型コロナウイルス感染症について（岡山県）](#)をご覧ください。

第21週（速報値） 新型コロナウイルス感染症 255名 年齢階級別・性別発生状況一覧表

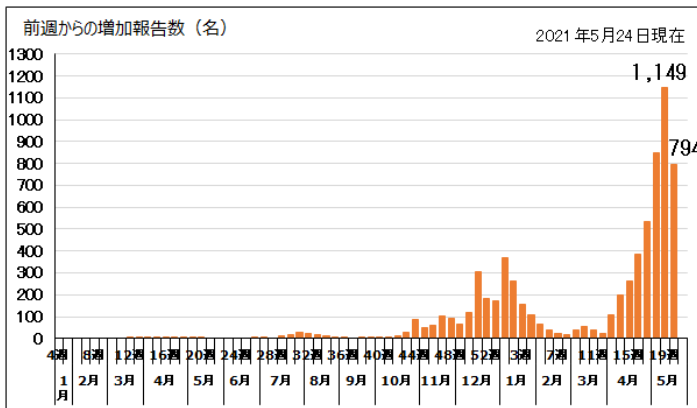
	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	年代非公表
男		8	24	14	19	18	12	12	8	2	
女	1	6	19	12	14	11	9	18	10	6	
性別非公表											32



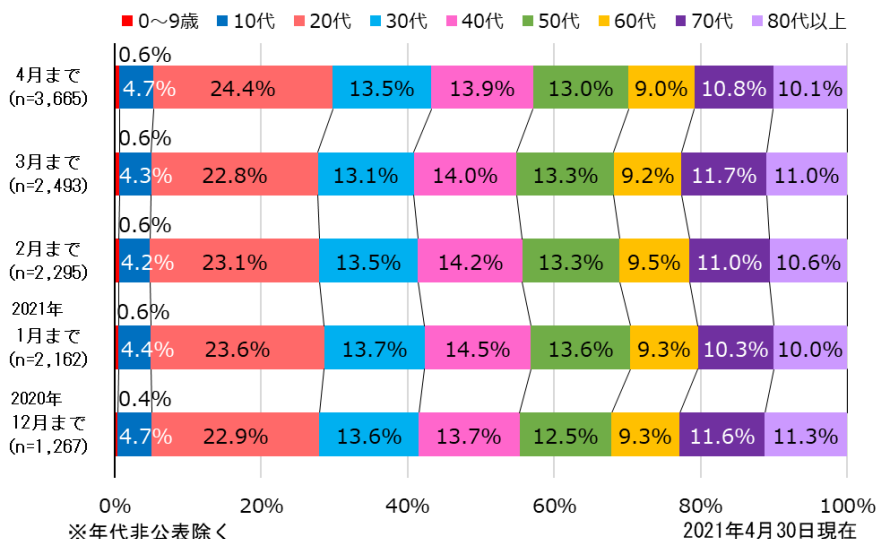
岡山県 週毎累計（2021年第20週まで）



岡山県 年齢階級別累計割合 (2021年5月27日まで)



岡山県 週毎増加報告数（2021年第20週まで）



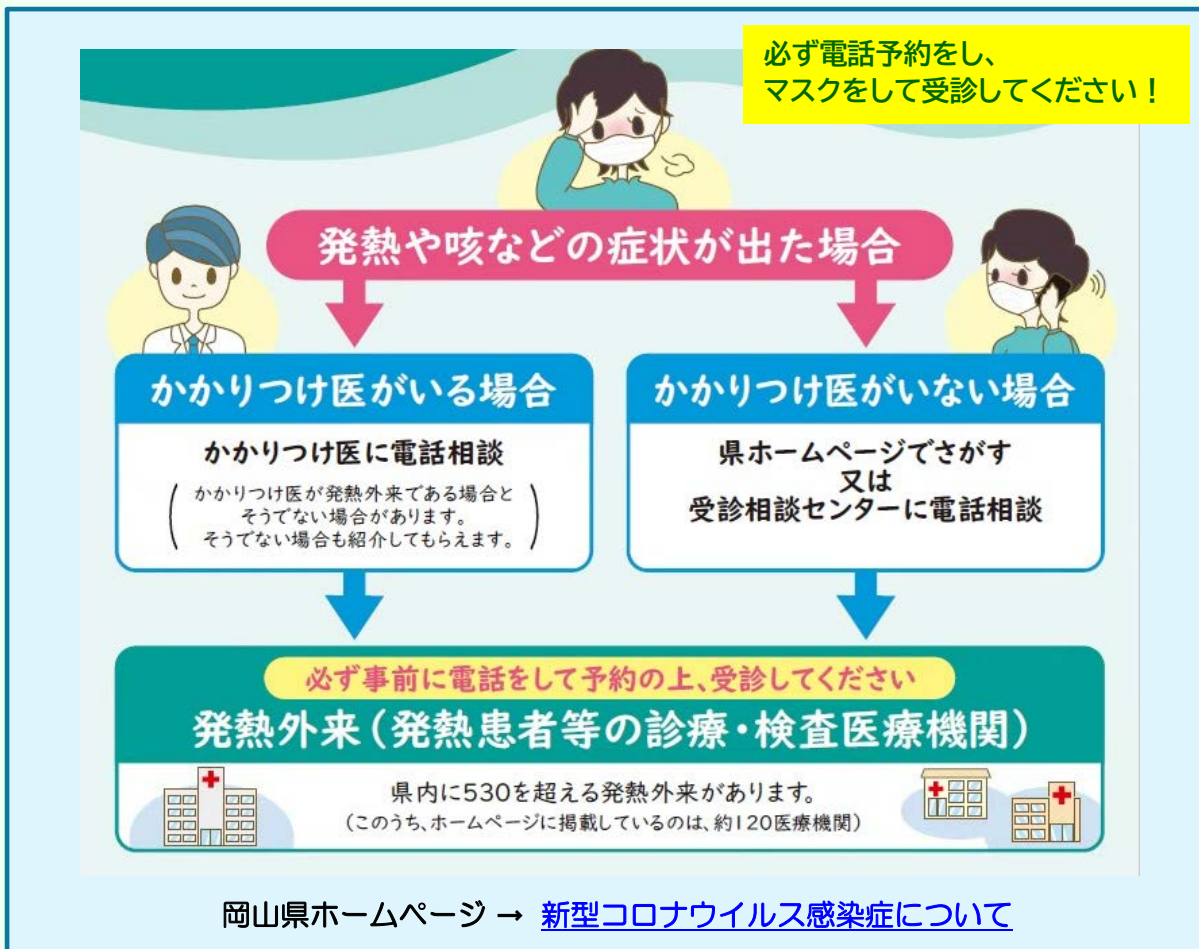
岡山県 年齢階級別累計割合 (各月まで、2020年12月～2021年4月)

【発熱や風邪のときは「かかりつけ医」等にご相談を！】

新型コロナウイルス感染症は、発熱や咳などで始まることが多く、初期症状が一般的な風邪と似ています。

こうした症状がある場合は、無理をして学校や職場等に行かないようにして、「発熱外来」で相談・診療・検査をしてもらいましょう。

なお、医療機関を受診する際は、必ず事前に電話予約をし、受診時はマスクを着用してください。



★予防接種を受けて、重い感染症にかかるリスクから子どもを守りましょう！★

現在、新型コロナウイルス感染症の流行による影響から、子どもの定期予防接種率の低下が懸念されています。

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。子どもの予防接種を遅らせると、必要な免疫をつけることができなくなり、予防接種で防ぐことのできる重い感染症にかかる危険性が高まります。

特に生後2か月から受け始めることは、母親からもらった免疫が減っていくときに、乳児がかかりやすい百日咳、細菌性髄膜炎などの感染症から乳児を守るために、とても重要です。

医療機関では、予防接種を行う時間や場所に配慮するなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めています。

子どもの予防接種は決して「不要不急」ではありません。

まだ接種期間内の方は、早めに予防接種を済ませましょう。

予防接種に関する疑問点などは、お住まいの市町村にお問い合わせください。



© 岡山県「ももっち・うらっち」

[遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診（厚生労働省）](#)
[予防接種スケジュール（国立感染症研究所）](#)

6 / 1 ~ 6 / 7 は『HIV検査普及週間』です！

早期発見！～防ごう、いきなりエイズ～



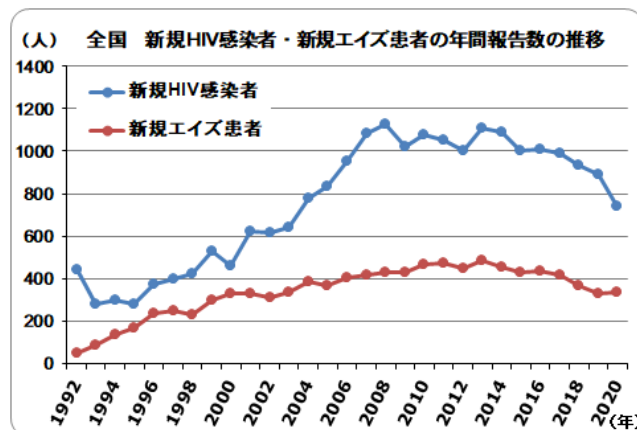
レッドリボン
エイズに対する理解と
支援の象徴

岡山県は、『受けやすい検査』『戦略的な普及啓発』『関係者の連携強化』を3本柱に、全県を挙げて、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染防止と『いきなりエイズ』防止に取り組む、「おかやまエイズ感染防止作戦」を実施しています。その作戦の重点実施期間である「HIV検査普及週間（6/1～6/7）」の事業として、6月中に県内の保健所・支所において、啓発や夜間の特例検査を予定しています。なお、特定の保健所・支所で実施を予定しており、詳細はこちらをご覧ください。 → [【おかやまエイズ感染防止作戦】](#)

※『いきなりエイズ』とは、エイズ（AIDS 後天性免疫不全症候群）発症によって初めてHIVに感染したことが判明することです。HIV感染後エイズ発症まで、通常数年程度の期間を要するとされていますが、近年発症の早い症例もみられています。HIV感染の治療の遅れとともに予期せぬ感染のひろがりにつながる可能性もあり、対策が必要です。

1. 全国の新規 HIV 感染者と新規エイズ患者

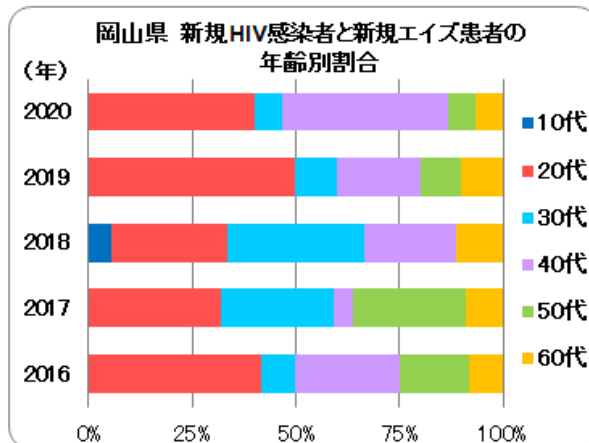
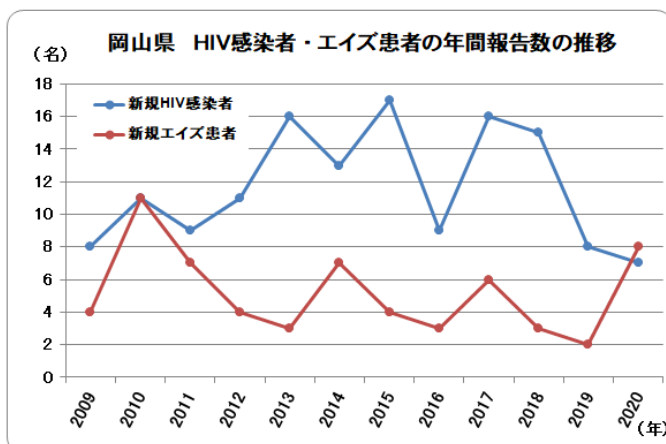
2020年の国内における新規HIV感染者および新規エイズ患者（いきなりエイズ）報告数の合計は1,076件（速報値）であり、2019年（1,236件）からは減少しています。しかし、新型コロナウイルス感染症に伴う検査機会の減少等の影響で検査件数等が減少しており、無症状感染者が十分に把握できていない可能性があります。この中で、新規エイズ患者報告数は、336件と、2019年（333件）からむしろ増加しており、注視すべき状況です。



新規 HIV 感染者 …… HIVに感染しているものの、受診時にエイズを疑う症状がなかったもの。
 新規エイズ患者 …… 受診時、すでにエイズを発症しており、「エイズ（AIDS）」患者として報告されたもの（す
 いきなりエイズ） …… すでにHIV感染者と報告され、後にエイズを発症した症例は除く）。

2. 岡山県の新規 HIV 感染者と新規エイズ患者

2020年の岡山県における新規HIV感染者および新規エイズ患者報告数の合計は15件であり、男性が14名、女性が1名でした。年齢別割合をみると、20～60代で発生が報告されており、特に20代と40代の割合が高くなっています（それぞれ全体の40%）。全新規報告数は前年から増加（2019年10名）し、特に新規エイズ患者の発生が急増しています（2019年2名→2020年8名）。

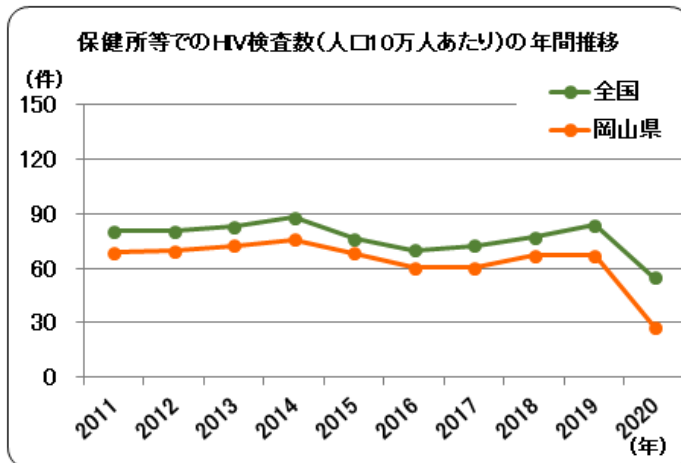


3. HIV 検査について

岡山県内で自発的にHIV検査を受けた人の数は、2015年から減少傾向にあり、2018年からは微増していましたが、2020年は新型コロナウイルス感染症流行に伴う検査機会の減少等の影響により大幅に減少しました。

HIVに感染してからエイズ発症までは、通常数年程度自覚症状がない時期が続くため、感染していることに気づきにくく、知らないうちに大切な人にうつしてしまう可能性があります。HIV治療は急速に進歩しており、早期に感染を知り発症する前に適切な治療を開始できれば、定期的に通院しながら今までとほぼ同じ生活を送ることが可能です。

HIVに感染しているかどうかは、HIV検査を受けないとわかりません。早期発見・早期治療がエイズ発症防止や感染拡大防止にも結びつくことから、拠点病院（一律1,000円）や保健所（無料・匿名）でのHIV検査を積極的に利用しましょう。



4. HIV と新型コロナウイルス感染症について

これまでのところ、HIV陽性者が特に新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高いことを示すエビデンスはありませんが、一般人口層と同様、高齢のHIV陽性者や、心臓や肺に疾患を抱えるHIV陽性者は、新型コロナウイルス感染症の感染や重症化のリスクが高くなると考えられます。新型コロナウイルスの感染を防ぐために推奨されている予防手段を実行することは大切であり、そのうえでHIVの治療やケアを継続することが重要です。

詳細はこちら→[「HIVとCOVID-19について」](#)（国連合同エイズ計画（UNAIDS））

**県内 10 か所のエイズ治療拠点病院では、
月曜日から土曜日まで、毎日輪番で検査を実施しています。**

- *いずれの拠点病院でも一律1,000円で受けられます(要予約)。
- *検査は原則匿名では受けられませんので、ご注意ください。
- *検査結果は検査を受けた日(約1~2時間後)にお知らせします。
- *確実な検査結果を得るためには、感染機会があったと思われる日から、8週間以上経過していることが必要です。
- *事前に電話での予約が必要です。

**岡山県内では、HIV検査普及週間中に特定の県内保健所・支所
において、定休日以外や夜間でも検査を実施しています。**

- *新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる場合があります。
- *検査は無料・匿名で受けることができます。
- *通常検査では1週間後、迅速検査では1時間後に結果をお知らせしています。
- *確実な検査結果(性感染症を含む)を得るためには、感染機会のあった日から、3か月たって検査することをおすすめします。
- *事前に電話で予約が必要です(保健所によっては予約不要の日時もあります)。

検査日時はこちら

[【 令和3年度 HIV検査普及週間 HIV・性感染症検査実施日時 】](#)

風しんの抗体検査(無料)を受けましょう!

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群(CRS)※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます](#) (岡山県健康推進課)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#) をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、実施されています(2022年3月31日まで)。以下の医療機関で、無料の抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月～2021年1月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、20.7%(12月までは20.3%)と未だに低い状況です! CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう!

[風しんの追加的対策について\(厚生労働省\)](#)

[風疹に関する疫学情報\(国立感染症研究所\)](#)

[“風疹ゼロ”プロジェクト\(日本産婦人科医会\)](#)



© 岡山県「ももっち」

ダニが媒介する感染症に注意しましょう!

野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られており、これらのダニの中には、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)※**、**日本紅斑熱**、**つつが虫病**などを引き起こす病原体を保有しているものがあります。

ダニは、春から秋(3月～11月)にかけて活発に活動します。

野外で作業する際は、肌の露出を少なくし、こまめに虫除け剤(ディートやイカリジンを含む)を噴霧するなどし、ダニに咬まれないようにしましょう。また、野外での作業後は、シャワーや入浴を行い、ダニが付いていないかチェックをしましょう。

※SFTSはSFTSウイルスに感染したイヌやネコからの感染も報告されています。体調不良の動物や野生動物への接触は避けましょう。

★★ くわしくは、こちらをご覧ください ★★

⇒ [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)に関するQ&A](#) (厚生労働省)

⇒ [日本紅斑熱とは](#) (国立感染症研究所)

⇒ [ツツガムシ病とは](#) (国立感染症研究所)

⇒ [マダニ対策、今できること](#) (国立感染症研究所)



吸血後の
フタゲチマダニ♀



ヤマアラシチマダニ

岡山県環境保健センター
ウイルス科 画像

保健所別報告患者数 2021年 20週(定点把握)

(2021/05/17～2021/05/23)

2021年5月27日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	38	0.70	14	1.00	21	1.91	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	21	0.39	14	1.00	1	0.09	-	-	4	0.57	-	-	1	0.50	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	7	0.50	6	0.55	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	297	5.50	77	5.50	38	3.45	79	7.90	39	5.57	32	8.00	3	1.50	29	4.83
水痘	10	0.19	3	0.21	2	0.18	3	0.30	-	-	-	-	2	1.00	-	-
手足口病	7	0.13	1	0.07	3	0.27	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	16	0.30	6	0.43	5	0.45	1	0.10	4	0.57	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	0.11	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.83
流行性耳下腺炎	6	0.11	4	0.29	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2021年 20週(発生レベル設定疾患)

(2021/05/17~2021/05/23)

2021年5月27日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	21	0.39	14	1.00	1	0.09	-	-	4	0.57	-	-	1	0.50	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	7	0.50	6	0.55	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	297	5.50	77	5.50	38	3.45	79	7.90	39	5.57	32	8.00	3	1.50	29	4.83
水痘	10	0.19	3	0.21	2	0.18	3	0.30	-	-	-	-	2	1.00	-	-
手足口病	7	0.13	1	0.07	3	0.27	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	0.11	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.83
流行性耳下腺炎	6	0.11	4	0.29	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2021年 第20週 2021/05/17～2021/05/23)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	38	5	1	19	7	3	3	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	21	-	-	9	7	3	2	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	-	-	1	3	2	4	2	-	1	2	1	-	-	
感染性胃腸炎	297	2	23	73	46	24	21	21	9	7	5	10	14	8	34
水痘	10	-	2	-	1	-	1	-	-	-	1	-	4	1	-
手足口病	7	-	-	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
突発性発疹	16	1	7	3	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	6	-	-	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	1	1	-	1	-	-	2	-	1	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

2021年 20週

分類	疾病名	2021			疾病名	2021			疾病名	2021		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	2	84	252	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	103
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	1		-	-	-
四類	E型肝炎	-	2	4	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	1
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	3	7
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	1	3
	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	1	11	日本脳炎	-	-	2
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	18	79
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	3	17	ウイルス性肝炎	-	1	10	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	9
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	-	1	急性脳炎	-	5	6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	3	7	後天性免疫不全症候群	-	2	15
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	1	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		-	8	12	水痘(入院例に限る。)	-	1	5	先天性風しん症候群	-	1	-
梅毒		2	39	162	播種性クリプトコックス症	-	-	2	破傷風	-	1	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	百日咳	1	7	92
風しん		-	-	1	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-
※	新型コロナウイルス感染症	794	5,490	1,440		-	-	-		-	-	-

※新型インフルエンザ等感染症

